



輸出品目レポート（かんしょ）

■品目説明

かんしょ（さつまいも）は、主に青果用、加工食品用、アルコール用、でん粉原料用として利用されている。近年、青果用は焼き芋ブームなどの影響で、国内外での需要が増加している。アルコール用は、焼酎需要が一定の落ち着きをみせている一方で、でん粉原料用は長期的に生産が減少傾向にある。加工食品用は、ペーストやかりんとうなどの菓子用が多く、干し芋や大学芋にも利用されている。

農林水産省「[農林水産統計 作物統計調査](#)」によると、2023 年、日本国内におけるかんしょの作付面積は 3 万 2,000ha、10a あたり収量は 2,240 kg で、前年並みとなった。収穫量は 71 万 5,800 トンで、こちらも前年並みである。主な産地は鹿児島県（21 万 5,400 トン）、茨城県（20 万 200 トン）、千葉県（9 万 1,300 トン）、宮崎県（6 万 8,900 トン）などとなっている。

そのほか、関連業界団体として、[日本いも類研究会](#)、[日本青果物輸出促進協議会](#)などがある。

■貿易概況

2023 年日本のかんしょの輸出動向をみると、金額は前年比 3.9% 減の 1,901 万ドル、数量ベースは同 5.8% 増の 6,031 トンとなった。主な輸出相手国は、1 位の香港で前年比 4.8% 減の 766 万ドル、2 位はタイで同 10.0% 減の 553 万ドル、3 位はシンガポールで同 7.2% 増の 407 万ドルとなった。

▼表 1：日本のかんしょ輸出

（単位：ドル、トン、%）

	2021年		2022年		2023年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
香港	8,247,976	2,282	8,048,865	2,446	7,663,191	2,466	△ 4.8	0.8
タイ	7,143,103	1,862	6,153,631	1,758	5,539,871	1,820	△ 10.0	3.5
シンガポール	3,549,065	860	3,804,760	978	4,078,870	1,197	7.2	22.4
台湾	872,365	196	586,633	153	858,282	252	46.3	64.7
マレーシア	708,971	219	416,588	148	534,591	201	28.3	35.8
全世界	21,190,062	5,603	19,793,020	5,702	19,015,535	6,031	△ 3.9	5.8

注：対象はHSコード 0714.20

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

日本産かんしょは、しっとりとした肉質と高い糖度を有することから、アジアを中心に高い支持を得ている。特にタイやシンガポールでは、焼き芋ブームの影響により旺盛な需要がみられる。



なお、農林水産省の輸出拡大実行戦略（2025 年 5 月）によると、2030 年までに全体 69 億円（タイ 22.6 億円、香港 12.8 億円、シンガポール 9.1 億円など）を目標としている。

また、国別のニーズや規制に対応するための課題と方策として、「地方マーケットや外食産業などの新たな販路を開拓するため、焼き芋機とのセット販売や現地と連携したメニュー開発の推進」「購買層の拡大を図るため、日本産かんしょの美味しさや食べ方を PR するプロモーションの実施、規格や価格のバリエーションの充実を図る」「植物検疫措置により青果用かんしょの輸出が制限されている国に向けては、冷凍焼き芋などの加工品の販売を強化」が挙げられている。

■海外事情

●香港

2023 年の香港のかんしょ輸入額は、前年比 26.4%減の 1,198 万ドル、数量ベースでは同 42.9%減の 4,042 トンとなった。主要輸入相手国の 1 位は日本で前年比 12.8%減の 836 万ドルでシェアは 69.7%であった。2 位はインドネシアで前年比 38.6%減の 109 万ドル、3 位は韓国で 40.2%減の 86 万ドルであった。これら上位国が金額ベース、数量ベースとも 2 ケタ減となり輸入全体に影響した。

▼表 2：香港のかんしょ輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2021年		2022年		2023年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
日本	10,582,910	2,575	9,593,216	2,558	8,361,983	2,278	△ 12.8	△ 10.9
インドネシア	1,941,953	1,336	1,777,769	1,187	1,092,367	933	△ 38.6	△ 21.4
韓国	1,392,906	283	1,441,951	364	862,043	262	△ 40.2	△ 28.0
台湾	551,991	177	500,194	166	689,670	131	37.9	△ 21.1
中国	151,548	92	197,350	120	335,002	73	69.8	△ 39.2
全世界	17,967,747	8,102	16,280,008	7,083	11,987,677	4,042	△ 26.4	△ 42.9

注：対象はHSコード 0714.20

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

香港では、電気炊飯器に専用ケースを付けて蒸かしイモとして食べることが一般的であり、炊飯器に入り易く、蒸し時間のあまりかからない小ぶりのサイズが好まれている。日本では、高品質であっても小さいサイズのものはあまり人気がなく、相場も安いいため、香港には比較的安く提供できており、一定の需要がある。

●タイ

2023 年のタイのかんしょ輸入額は、前年比 23.9%減の 1,857 万ドル、数量ベースでは同 38.0%減の 14,389 トンとなった。主要輸入相手国の 1 位はベトナムで前年比 18.6%減の 750 万ドルであった。2 位は日本で前年比 9.5%減の 617 万ドル、3 位はラオスで 53.4%減



の 293 万ドルであった。

▼表 3：タイのかんしょ輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2021年		2022年		2023年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
ベトナム	16,447,165	14,770	9,222,392	7,274	7,503,963	5,241	△ 18.6	△ 27.9
日本	8,137,672	1,873	6,819,991	1,742	6,172,738	1,861	△ 9.5	6.8
ラオス	7,305,651	15,657	6,290,608	13,327	2,932,672	6,277	△ 53.4	△ 52.9
中国	983,053	450	1,279,298	542	1,189,835	639	△ 7.0	17.9
オーストラリア	185,042	66	329,759	150	379,537	135	15.1	△ 10.0
全世界	33,549,154	33,191	24,419,226	23,212	18,571,526	14,389	△ 23.9	△ 38.0

注：対象はHSコード 0714.20

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

JFOODO「[2021 年度 農林水産物・食品 8 品目 流通調査：かんしょ／タイ・マレーシア・台湾](#)」(2022 年 7 月)では、以下のようにまとめている。

- ・日本産かんしょは、健康志向やノンオイル料理、かんしょ加工品の台頭などを背景に、長期的にみてもタイ人の間で高い需要が維持されると予測されている。
- ・日本産かんしょの高い品質と信頼性が訴求力であり、消費者の 95%は訪日経験のある高所得層である。
- ・日本産かんしょは、糖度、食感、形状の面でタイ市場においてトップクラスだが、年末年始の供給不足と高価格により競争力が低くなっている。

●シンガポール

2023 年のシンガポールのかんしょ輸入額は、前年比 2.4%増の 1,333 万ドル、数量ベースでは同 6.9%減の 9,546 トンとなった。主要輸入相手国の 1 位は日本で前年比 10.3%増の 482 万ドルであった。2 位はベトナムで前年比 6.8%減の 303 万ドル、3 位はインドネシアで 15.6%増の 277 万ドルであった。

▼表 4：シンガポールのかんしょ輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2021年		2022年		2023年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
日本	4,267,960	943	4,374,614	1,014	4,828,433	1,258	10.3	△24.0
ベトナム	3,559,563	3,042	3,260,148	2,538	3,038,981	2,053	△6.8	△19.2
インドネシア	2,230,776	2,313	2,395,301	2,537	2,770,023	2,725	15.6	7.4
マレーシア	1,275,430	2,745	1,250,200	2,653	1,416,314	2,668	13.2	0.5
オーストラリア	714,245	358	551,008	295	505,353	311	△8.3	5.4
全世界	13,555,057	11,351	13,014,958	10,246	13,338,438	9,546	2.4	△6.9

注：対象はHSコード

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成



[JFOODO「海外フィールドマーケットによるシンガポールの今がわかる！現地“食”情報レポート」](#)（2024 年 1 月）によると、シンガポール国内の日系ディスカウントストアでは、日本産農産物や食品、加工品が多数販売されており、焼き芋の影響を受けて、さつまいも（かんしょ）が人気である。こうした背景を踏まえ、2019 年 5 月には同国チャンギ国際空港内にかんしょ・かんしょ加工品に特化した専門店をオープンした。この店舗では、焼き芋のほか、大学芋、さつまいもシェイクなども販売されている。

ジェトロ「[日本食品消費動向調査 シンガポール](#)」（2017 年 3 月）では、以下の通りまとめている。

- ・シンガポールでは、かんしょを煮たり蒸したりして消費する機会が多く、用途としてはお粥やデザート、パンの材料として利用される。そのため、熱が通りやすい細長形や紡錘形のものが好まれる。
- ・輸入量の多いベトナム産やインドネシア産と比較すると、日本産かんしょには 2～3 倍の価格差がある。
- ・日本産かんしょの市場シェア拡大の可能性としては、輸送費の抑制によるコスト削減に加え、他国産にはない紡錘形や細長形のかんしょの輸出促進、BtoB 向け卸の促進が挙げられる。

●マレーシア

2023 年のマレーシアのかんしょ輸入額は、前年比 7.2%増の 1,125 万ドル、数量ベースでは同 13.3%増の 21,833 トンとなった。主要輸入相手国の 1 位はベトナムで前年比 8.2%減の 356 万ドルであった。2 位はインドネシアで前年比 19.3%増の 283 万ドル、3 位はタイで 39.4%増の 135 万ドルであった。日本からの輸入額は第 5 位であり、金額ベースで 63 万ドル、数量ベースで 221 トンとなった。

▼表5：マレーシアのかんしょ輸入

（単位：ドル、トン、%）

	2021年		2022年		2023年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
ベトナム	4,907,496	4,573	3,875,693	3,508	3,560,776	2,834	△8.2	△19.3
インドネシア	2,185,507	6,254	2,372,300	6,560	2,832,213	8,185	19.3	24.7
タイ	686,307	2,840	971,600	4,276	1,355,318	5,591	39.4	30.7
オランダ	909,815	1,347	760,483	1,495	850,028	1,832	11.7	22.5
日本	866,111	260	583,025	205	639,249	221	9.6	7.8
全世界	10,839,780	17,299	10,492,494	19,256	11,255,944	21,833	7.2	13.3

注：対象はHSコード

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

[JFOODO「2021 年度 農林水産物・食品 8 品目 流通調査：かんしょ／タイ・マレーシア・台湾」](#)（2022 年 7 月）では、以下のようまとめている。

- ・マレーシアのかんしょ市場は比較的小さくニッチではあるが、拡大傾向にある。



- ・日本産かんしょの消費方法は、「焼く」または「蒸し焼き」が定番である。
- ・ベトナム産やインドネシア産かんしょは、数量・低価格重視で、マス市場で人気がある。
- ・マレーシア産かんしょは、低価格で安定したタイムリーな納品、サプライヤーとの円滑なコミュニケーションが売りである。
- ・日本産かんしょと他産地のかんしょの違いについて、消費者の認知を上げることが需要拡大するために重要である。そのため、ラベルやパッケージを通じたブランディングや SNS での PR、十分な供給量を確保する必要がある。

●その他

- ・香港 PF カントリーレポート「香港への農林水産物・食品の輸出に関するカントリーレポート（青果物）」（2024 年 11 月）
- ・JFOODO「[2021 年度 農林水産物・食品 8 品目 消費者調査：かんしょ](#)」（2022 年 7 月）
- ・タシケント市内で浜松フェアが開催(日本、ウズベキスタン) | ビジネス短信 —ジェトロの海外ニュース - ジェトロ（2025 年 3 月）
- ・日本食ブームのカナダ・トロントで「和食祭り」、5 年ぶり開催(日本、カナダ) | ビジネス短信 —ジェトロの海外ニュース - ジェトロ（2024 年 11 月）・[絶品！日本産さつまいもを NY へ 甘さの秘密と輸出への挑戦 | これまでの番組 - これまでの番組 - 国際ビジネス情報番組「世界は今 -JETRO Global Eye」 - ジェトロ](#)（2024 年 12 月）
- ・GFP グローバル産地連携かんしょ部会「かんしょの輸出概要及び米国市場クイック調査結果報告」（2020 年 10 月）
- ・農林水産省「[かんしょをめぐる状況について](#)」（2025 年 5 月）

ジェトロ「[現地市場価格調査](#)」では、イモ類の主要都市における市場価格をまとめている。

青果物の輸入規制、輸入手続きに関して、[ジェトロのポータル](#)にて、香港、台湾、韓国、中国、マカオ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、フィリピン、インド、米国、カナダ、EU、英国、ニュージーランドをまとめている。



本レポートに関する問い合わせ先：
日本貿易振興機構（ジェトロ）
農林水産食品部 市場開拓課 調査チーム

〒107-6006
東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル
TEL：03-3582-5186

【免責事項】

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できる限り正確な情報の提供を心がけておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。